

2025年11月25日
株式会社三菱UFJ銀行

「MUFG持続可能な食の循環フェア」開催

—京都市等と連携、社員食堂の生ごみを利用して育てたお米・野菜を提供—

株式会社三菱UFJ銀行(取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下 三菱UFJ銀行)は、京都市や同市内研究機関等の関係者と連携し、京都支店社員食堂の生ごみから作った液肥を利用して収穫されたお米・野菜を、食堂で提供する、社員向けの「MUFG持続可能な食の循環フェア」を開催しました。

京都市(市長 松井 孝治)、一般社団法人びっくりエコ研究所(代表理事 浅利 美鈴、以下 びっくりエコ)、公益財団法人京都高度技術研究所(理事長 西本 清一、以下 ASTEM)ならびに安田産業株式会社(代表取締役 安田 奉春、以下 安田産業)は、京北地域¹の家庭や市街地の事業所等から収集した生ごみをバイオガス化し、液肥として農業利用する取り組み(以下、プロジェクト)を進めています。三菱UFJ銀行は、プロジェクト開始当初(2024年)より、京都支店の食堂生ごみを提供することを通じて、生ごみのバイオガス化・液肥生成に協力しています。今般、社員の循環型経済に対する意識啓発を図る目的から、生ごみの提供にとどまらず、生産物の購入にも協力するべく、三菱UFJ銀行では初めての試みとして食の循環をテーマとしたフェアを開催することに致しました。

■ 取り組みの背景・概要

びっくりエコ及びASTEMは、環境省からの受託事業(2022年度・2023年度)により京北地域にバイオガス化施設(名称:京都里山SDGsプラント「めぐる」)(以下プラント))を設置し、2024年10月から、京都市と両研究所、ならびに安田産業とが協働で、京北地域の家庭系生ごみと京北地域及び市街地の事業系生ごみにより、バイオガスと液肥の生成を行っています。

産官学連携により、「生ごみ」を地域資源として活用し、ごみの減量を図るとともに、中山間地域の活性化や市街地と里山が連携した持続可能な循環型社会を実現し、地域循環共生圏の事業モデルの構築をめざす取り組みとなります。このプロジェクトでは、生成した液肥を利用し、京北地域の田畑でお米や野菜を栽培しています。

「食の資源循環」イメージ



京都里山SDGsプラント「めぐる」



液肥を使った稲作(京北地域)

■ 京都支店・大阪ビル食堂での京北産食材の提供とその効果

三菱UFJ銀行では、食を通じた社員の環境意識啓発、食を通じた新たな資源循環モデルの社会実装をめざし、プラントで生成された液肥を使ったお米や野菜を、京都支店及び大阪ビルの食堂で提供する取り組みを、「MUFG持続可能な食の循環フェア」と題し実施しました。(大阪ビルでは、2025年11月10日-14日に開催、京都支店では、11月17日-25日に開催)



食堂で提供した京北食材メニュー「秋野菜ほうとう」

このフェアでは、プラントで生成した液肥で栽培された米・さつまいも・カボチャを特別メニューの食材として食堂で提供し、社員に対し取り組みを周知しています。

三菱UFJ銀行はこの取り組みへの協力を始めて以来、生ごみの最終処分量を年間約320kg削減できたと試算しています。また三菱UFJ銀行から排出した生ごみより、液肥は年間5.4トン生成され、これはお米の収穫量710kg相当を賄う施肥量となります。

三菱UFJ銀行では、今回のフェアを通じて、社員の環境意識啓発に努めるとともに、新たな資源循環モデルの構築・展開をめざしていきます。特に、プロジェクトの継続的な運営に向け、当行のネットワークも活用し、市内企業を中心とした参加事業者の拡大を図るなど、プロジェクトに対する支援を行っていきます。

今後もこのような取り組みを通じて、日本の産業の更なる発展及び地球温暖化の防止・環境保全という世界共通の課題解決に貢献していきます。

【三菱UFJ銀行の取り組み】

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(代表執行役社長 かめざわ ひろのり 亀澤 宏規、以下 MUFG)では、MUFG中期経営計画2024-2026において、「社会課題の解決」に向けた優先的に取り組む10の課題の一つとして「循環型経済の促進」を掲げており、資源循環への国際的な意識の高まり、ごみ問題の深刻化、資源の保全といった観点から、持続可能な形で資源を利用する「循環型経済(サーキュラーエコノミー)」への移行に向けて、さまざまな取り組みを実施しています。

MUFGは、連結子会社である三菱UFJ銀行による「食の循環」への取り組みを通じて、今後は金融機関として本フェアの社会的価値を発信するとともに、お客さまの同様の取り組みを支援し、我が国全体における循環型経済の普及・促進に貢献していきます。

MUFG における環境負荷低減に向けた資源循環への取り組みは、MUFG Climate Report (気候変動レポート)、並びにHP (Sustainability at Work)をご参照ください。

MUFG Climate Report <https://www.mufg.jp/csr/report/progress>

Sustainability at Work <https://www.mufg.jp/csr/atwork>

以上

¹ 京都市右京区。2005年の京都市編入以前の旧「京北町」域内に所在する周山・細野・宇津・山国・黒田・弓削の6つの地区から成る地域。